

○はじめに

皆さん、受験は甘くありません。この文章は私の京都大学不合格体験記としてご覧ください。(しくじり先生の受験版くらいに捉えてください。)見事なサクセスストーリーとしての合格体験記を見たい方は、他の方の合格体験記をご覧ください。と、偉そうなことを言っていますが、私も落ちるまでは受験の厳しさを本当の意味では理解していませんでした。というのも、私は模試の成績が劇的に伸びてきた秋以降は「このまま努力し続けたら絶対受かる」と思っていたし、入試本番でも、国英社は今までで最も感触が良く、数学は微妙だったのですが、内心「受かったやろ」と思っていました。しかし、合格発表のとき、自分の番号はありませんでした。このときは、悔しさより「え、あの出来で落ちるん」という驚きのほうが大きかったです。後で自己採点したら、五問中一完だったので、「そりゃそうか」と納得しました。同時に、「どれだけ勉強してきても、なにか一つミスるだけで落ちるんか」と受験の厳しさを知りました。ここからは、自分の不合格の原因と自分の受けた模試のおすすめ度を書きます。これを他山の石として、皆さんは第一志望の大学に受かってください。

○自分の不合格の原因

まずは、京大を目指すのが遅かったです。自分が京大を目指し始めたのは高3になってからで、本気で行きたいと思いはじめたのは高3の夏休み末からです。というのも、私は以前から「文系でも数学が学べる大学があればいいのに」と思っていました。しかし、そんなの決めつけて、調べませんでした。ところが、ちょっとしたことがきっかけで調べると、それができる学部がありました。それが京大の総合人間学部です。もっと早く調べておけばよかったと、とても後悔しました。なので皆さん、無理だと思っても、とりあえず調べてみたり、やってみたりしてください！また、夏休みにモチベーションを保てなかったのも一因です。1学期に受けた模試の結果が良かったので、それでうかれてしまったのが原因です。皆さんは模試の結果に一喜一憂することなく、常に高みを目指して勉強してください。また、赤本を先にやりすぎたのも一因です。ハイレベルな二次向きの参考書を完璧にしてから、共テ後に一気にやるのが良かったかなと思います。先に過去問を解きすぎると入試前に実戦形式で使える貴重な問題が減ってしまうし、古い過去問は傾向がかなり異なることもあるので、比較的新しい年度の過去問は、計画的に何年分かは直前期に取っておきましょう。

○模試について (あくまで個人の意見です)

1, 2年生⇒自分の学力レベルを知るために、東進と河合の全統を毎回受けることを推奨
3年生⇒上記の2つに加え、志望校の中での立ち位置、志望校との距離がわかり、かつ、志望校の本番形式の問題が解ける貴重な機会である駿台実戦、河合オープン、両者プレテストの受験必須。

残りの模試について

東進・難関大模試系⇒母数が少なく全体での立ち位置がわからず非推奨。

- ・〇〇大本番レベル模試⇒京大に関しては実際の出題形式・方法と乖離があり非推奨。
- ・共テ本番レベル模試⇒個人による。
ベネッセ駿台⇒難易度はベネッセ